

平成 26 年 9 月 29 日

各 位

会社名 新生企業投資株式会社
代表者名 代表取締役社長 松原 一平**iPS 細胞事業を展開するリプロセルとの Cell Innovation Partners, L.P.の運営開始について**

新生企業投資株式会社(以下、「当社」)は、平成 26 年 1 月 28 日発表の「バイオ企業のリプロセルと iPS ファンド Cell Innovation Partners 設立を発表」にて、株式会社リプロセル(神奈川県横浜市、代表取締役社長 横山周史、以下、「リプロセル」)と共同で「Cell Innovation Partners, L.P.」(以下、「本ファンド」)を設立することについてお知らせいたしました。平成 26 年 9 月 26 日付でファンド規模 8 億円にて運営を開始いたしましたので、お知らせいたします。

iPS 細胞をはじめとする万能細胞や再生医療の研究は、近年、世界各国の大学や研究機関において加速していますが、研究成果を再生医療の実用化につなげる開発資金の供給が課題となっています。このため、本ファンドは国内および海外の細胞・再生医療関連ベンチャーへ成長資金を提供することで、次世代の創薬・医療ビジネスの早期実用化に資することを目指します。

本ファンドは、以下の三つの特長を有しています。

1. iPS 細胞をはじめとする万能細胞や再生医療関連ベンチャーを中心に投資を行います。投資検討においては、iPS 細胞ビジネスのパイオニアであるリプロセル社の当該領域に関する業界、事業、技術の理解に基づきバイオベンチャーの成長可能性を評価し、投資後 5 年から 7 年以内に事業化が見込めるベンチャーへ投資を行います。
2. 日本に加え、細胞・再生医療の実用化で先行する米国・欧州をはじめとする海外のバイオベンチャーも対象に、グローバルな投資を積極的に行います。
3. 投資先のバイオベンチャーの成長に貢献する支援を行います。平成 25 年 6 月に上場したリプロセルの経営面での経験・ノウハウ、技術・製品開発に関する知見や海外販売チャンネル、新生銀行グループの資本政策についての知見や資金調達ネットワークを活かし、投資先のバイオベンチャーを事業・資金調達の両面から支援いたします。

当社では、Pre-IPO 投資としてミドル・レイターステージのベンチャー企業に成長資金の提供を行うとともに、外部パートナーとの共同ファンド設立を積極的に行ってまいりました。また、iPS 細胞・再生医療関連分野は、新生銀行グループの第二次中期経営計画にて定める医療・ヘルスケアなどの重点分野であることから、当社では、成長資金の提供を通じて、新しい産業分野の創造に貢献してまいります。

【本ファンドの概要】

名 称 : Cell Innovation Partners, L.P.
所 在 国 : ケイマン諸島
設 立 : 平成 26 年 3 月
ファンド規模 : 8 億円
運 営 者 : Cell Innovation Partners Limited※ (URL: <http://www.cell-ip.com>)
出 資 者 : GP(無限責任組員)出資: Cell Innovation Partners Limited
LP(有限責任組員)出資: 株式会社リプロセル、株式会社新生銀行、
SMBC 戦略出資 2 号投資事業有限責任組合
期 間 : ファンド期間 7 年
投 資 対 象 : 国内および海外の細胞・再生医療関連ベンチャー

※リプロセル 100%子会社の RC パートナース株式会社と新生企業投資株式会社がそれぞれ 50%出資して平成 26 年 2 月に設立したケイマン諸島籍の本ファンドの運営・管理会社。

以 上